

神戸常盤大学の全ての学生は、「いのちのサポーター」をめざします。

目の前のひとが、急に倒れた。「え？心臓が止まっている！？」

あなたは、こんなときどうしますか？

「目の前のひと」

それはあなたの家族かもしれない。友達かもしれない。ショッピングを楽しんでいる時の、知らない人かもしれない。

テレビドラマではありません。あなたの目の前で一人の大切な命が失われようとしている。

その時、あなたに何ができますか？



神戸常盤大学は、そんなときに、ずっと動ける人、目の前の人倒れた時にも、あわてずに、的確な対応ができる人を育てたいと思っています。

4月3日、8日、9日にわたり、平成31年度入学生340名全員に、心肺蘇生法、AEDの取扱いなどの講習が行なわれました。

学生たちは、「いのちのサポーター」を目指し、和気あいあいと、しかし真剣に学びます。この講習を受けた学生は、神戸市から市民救命士講習の修了証が授与されます。



救命処置の手順

1. 安全の確認
 2. 反応の確認
 3. 助けを呼ぶ
[119番通報とAEDの手配]
 4. 呼吸の確認
 5. 胸骨圧迫
 6. 人工呼吸
[1]気道確保
[2]人工呼吸
- ※AED到着後、使用
神戸常盤大学



神戸常盤大学は、神戸市から「民間救急講習団体（FAST）」に認定され、地域とともに市民救命士の養成を推進し、より安全・安心なまちづくりを推進しています。そのため、教員が講習を受け、34名の救急インストラクターを擁した市内最大級の団体です。